

第 13 章 道南の道の駅

白倉 誠

13.1 道南について

北海道道南は明確な定義はないが、渡島総合振興局と檜山振興局の地域を指すことが多い。地理的に本州と北海道をつなぐ位置にあるため、北海道の海の玄関口として栄え、現在は青函トンネルにより陸の玄関口の一面も持っている。

渡島総合振興局内にある函館市が道南でもっとも栄えている市で、人口も道南の約 3 分の 1 であり、古くから和人と交流も盛んで、北海道有数の観光地の一つである。同局の八雲町は日本で唯一日本海と太平洋の両方に面する町である。

道南は、広い漁場に恵まれていることから、道内はもとより日本でも有数の水産基地である。また温暖で肥沃な土壌を生かした農業も盛んなことから、海と大地の恵みが豊かなエリアといえる。お皿の上でイカが踊る活イカや函館ラーメン、松前マグロ、ラッキーピエロのハンバーガーなどが道南で有名なグルメである。

2016 年 3 月 26 日には新青森-新函館北斗間での北海道新幹線が開業するという
ことで、東京-新函館北斗間の所要時間は最短で約 4 時間となり、道南はこれからますます発展を遂げていくと予想される。また、2030 年度末には新函館北斗-札幌間においても開業予定であり、アクセスが非常に便利となる。

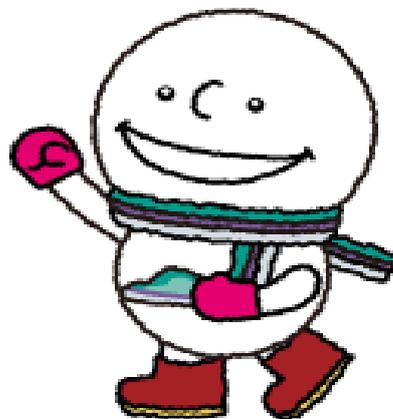
北海道新幹線のマスコットキャラクターを決める人気投票では、「はしろう」と「カムくん」を押さえ、圧倒的な人気で「どこでもユキちゃん」が採用された。

図 13-1 道南の地図



出所：道南情報・eひろば

図 13-2 どこでもユキちゃん



出所：北海道新幹線開業 NAVI

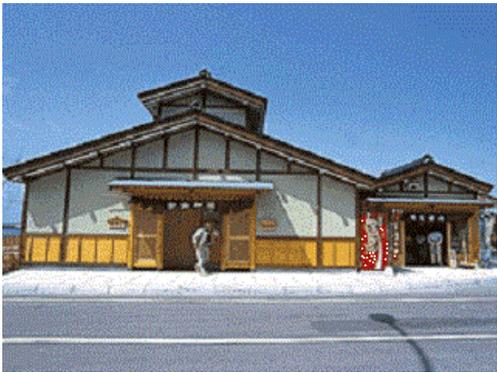
13.2 道南の道の駅

13.2.1 概要

道南の道の駅は全部で 12 ヶ所であったが 2015 年 11 月 5 日付けで、木古内町の「みそぎの郷きこない」と鹿部町の「しかべ間歇泉公園」が「道の駅」に登録され、合計 14 ヶ所となった。「みそぎの郷きこない」は 2016 年 1 月 13 日にオープンし、「しかべ間歇泉公園」は 2016 年 3 月中にオープン予定である。

以下の表は 2015 年現在の道南の道の駅の駅名、所在地、特徴、持参サービスをまとめたものである。

表 13-1 道南の道の駅 (2015 年現在)

江差	あっさぶ
	
所在地：檜山郡江差町字尾山町 1 番地	所在地：檜山郡厚沢部町緑町 72-1
特徴：江戸時代の江差に実在したといわれる「とんち」の名人・江差の繁次郎の銅像が飾られており、笑いで町おこしをする江差町の中心的な場所になっている。江戸時代の練場の雰囲気盛り上げようと、地元で採れたヒノキ材を使い、切妻屋根の建物に仕上げた駅となっている。	特徴：地元のヒノキアスナロ材を使って建てられた駅である。メイクインの発祥地ともあって、メイクインを始め、新鮮な厚沢部産の野菜や加工品が数多く並んでいる。町外への発送も行っており人気を集めている。
持参サービス：なし。	持参サービス：厚沢部産黒豆を使用した「黒豆茶・ペットボトル 500ml」通常 140 円を 100 円で販売する。

てっくいランド大成



所在地：久遠郡せたな町大成区平浜 378
番地

特徴：日本海の目の前にあり、夕陽の名所となっている。また、目の前は海水浴場になっており、夏だけシャワーが使用できる。

持参サービス：ひやま漁協加工品が 5%引きとなる。

YOU・遊・もり



所在地：茅部郡森町字上台町 326-18

特徴：屋上の展望ラウンジから駒ヶ岳や羊蹄山、噴火湾を一望できる絶好のポイントがあり、周辺にはオニウシ公園、青葉ヶ丘公園などの都市公園が広がっている。

持参サービス：「黒豆茶・ペットボトル 500ml」通常 140 円を 100 円で販売する。

ルート 229 元和台

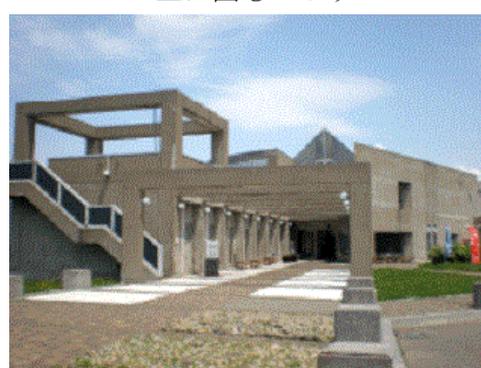


所在地：爾志郡乙部町字元和 169

特徴：全国的に珍しい海のプール「元和台海滨公園」、北海道の天然記念物でもある「鮪の岬」などがあり、乙部町のマリレジャーの中心地となっている

持参サービス：なし。

上ノ国もんじゅ

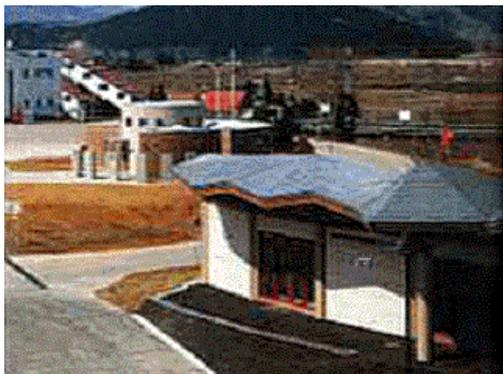


所在地：檜山郡上ノ国町字原歌 3 番地

特徴：地場産の農産物、水産加工品の他、日本では上ノ国でしか産出されないブラックシリカの製品などが販売されている。

持参サービス：いちごジュースが 50 円引きとなる。

しりうち



所在地：上磯郡知内町字湯の里 48 番地
13

特徴：青函トンネルの出入口に近く、敷地内には旧石器時代の墓と見られる日本最古の土壙が発見され、国の重要文化財に指定されている。

持参サービス：なし。

横綱の里ふくしま



所在地：松前郡福島町字福島 143 番地 1

特徴：「横綱千代の山千代の富士記念館」があり、また生産量日本一を誇るスルメイカを販売する物産センターも併設している。

持参サービス：なし。

なとわ・えさん



所在地：函館市日ノ浜町 31 番 2

特徴：「なとわ」とは、道南地方の方言で「あなたとわたし」の意味であり、屋上では津軽海峡を一望することができる。

持参サービス：ソフトクリームが 10%引きとなる。

つど〜る・プラザ・さわら



所在地：茅部郡森町字砂原 2 丁目 358-1

特徴：砂原の地場産業の紹介や、海・山の幸など豊富な食材を利用した調理法などをレクチャーしてくれるユニークな道の駅である。

持参サービス：ソフトクリームが 50 円引きとなる。

北前船 松前



所在地：松前郡松前町字唐津 379 番地

特徴：松前本まぐろ・アワビ等の新鮮な魚介類、本場松前の各名店が丁寧に作り上げた松前漬・するめ等の特産品を堪能することができる。

持参サービス：なし。

縄文ロマン 南かやべ



所在地：函館市臼尻町 551 番地 1

特徴：国宝「中空土偶」をはじめ地域の貴重な縄文文化遺産を展示公開する「函館市縄文文化交流センター」をメイン施設とし、国内唯一の国宝のある道の駅として地域の魅力を発信している。

持参サービス：なし。

出所：北の道の駅 HP より筆者作成

13.2.2 どうなん×あおもりスタンプラリー

どうなん×あおもりスタンプラリーとは、津軽海峡フェリー株式会社が東北「道の駅」連絡会と北海道地区「道の駅」連絡会の協力によって 2015 年 7 月 20 日から 12 月 31 日までの期間中、道南の道の駅 12 ヶ所、青森の道の駅 27 ヶ所、津軽海峡フェリーターミナル 3 ヶ所並びに船舶 5 隻をめぐり行われている観光事業の一つである。これは観光客へのサービスの向上、観光交流人口の増加における地域活性化に向けた取り組みが目的とされており、スタンプの数に応じて抽選で商品券や道の駅の特産品セットなどの豪華賞品が当たるイベントとなっている。参加費は無料で、参加方法は道南、青森、津軽海峡フェリーターミナルに設置のスタンプブックを入手するだけでよい。

以下の表は、賞品とその賞品の応募条件についてまとめたものである。

図 13-3 スタンプブック



出所：津軽海峡フェリーHP

表 13-2 スタンプラリーの賞品

賞	賞品	応募条件
完走賞	JTB 旅行商品券 (10 万円分)・・・3 組	道の駅 39ヶ所 ターミナル 3ヶ所 フェリー 5 隻
制覇賞	フェリーペア+車往復乗船券・・・5 組	道の駅 35 以上 ターミナル 2 以上 フェリー 5 以上
制覇小賞	JTB 旅行商品券 (1 万円分)・・・10 組	道の駅 20 以上 ターミナル 2 以上 フェリー 1 以上
次回はもっとい期待賞	両岸道の駅特産品セット (3000 円相当)・・・10 組	道の駅 5 以上 ターミナル 2 以上 フェリー 1 以上
両岸渡ったで賞	ガソリンカード (2000 円相当)・・・25 組	道の駅 2 以上 ターミナル 2 以上 フェリー 1 以上

出所：津軽海峡フェリーHP より筆者作成

参照 HP

・道南情報・eひろば

<http://www.hk.hkd.mlit.go.jp/ehiroba/>

・北海道新幹線開業 NAVI

<http://hokkaido-shinkansen-navi.jp/>

・北の道の駅 HP

<http://www.hokkaido-michinoeki.jp/index.html>

・津軽海峡フェリーHP

<http://www.tsugarukaikyo.co.jp/>